

地域ケア会議 NEWS☆LETTER

令和4年度 第2回地域ケア推進会議を開催！

令和4年8月23日に第2回地域ケア推進会議を開催しました。今回から、新たな困りごと（地域課題の種）に取り組むため、事務局からキーワードとして、『地域の担い手』を提案し、意見交換を行いました。今回は、市役所の会場での参加とZOOMによるオンライン参加のハイブリット方式で開催しました。新型コロナウイルス感染拡大状況下ではありますが、工夫しながら、小諸市の地域包括ケアを推進していきたいと思っております。



地域課題のキーワードとして「地域の担い手」を提案しました

これまで、集まってきた地域課題の種を、事務局で整理したところ、「地域の担い手」というキーワードが出てきました。そこで、新たなテーマとして、取り組んでいったらどうか、と提案しました。

【地域課題の種（抜粋）】

○コロナ禍で、これまで区や世代間で行ってきた集まりが開催できず、民生委員として顔の見える活動が難しかった。

○区内で、介護予防の集まりの担い手が不足している。

○通所型サービスB（ボランティア等の住民主体による通いの場）の利用者が少なく、活動が広がらない。

○地域活動を担うメンバーの高齢化が進んでいる。

○農業等福祉以外の分野でも労働力が不足している。

これらの地域課題の種を「地域の担い手」の背景（課題や現状）として、次の通り、整理しました。



信州 小諸 KOMORO 「地域の担い手」の背景① 小諸市

- 地域の活動の現状：運営する人材が不足している
- 様々な要因（人材、コロナ禍、高齢化等）で活動の継続が困難
- 地域の担い手はこんな人
区長、民生・児童委員、福祉推進委員、認知症サポーター、ささえ愛サポーター、ボランティア、地域交流事業の運営を担う人 等
- コロナ禍で、ボランティアが活動できていない

信州 小諸 KOMORO 「地域の担い手」の背景② 小諸市

- 「地域の担い手」の人材育成の必要性
- 福祉以外の分野でも担い手不足が生じている
例：農業（人手が欲しいが、適当な人材が見つからない）

また、小諸市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターからも、現在の小諸市の地域活動の現状について報告してもらいました。

○コロナ禍の影響で、ボランティア等の地域活動が減少している。

○活動自体が縮小しているが、担い手が不足している現状がコロナ前から継続している。

○地域活動が縮小することで、「地域の人と会いづらくなった」「地域活動を開催して、感染してしまったら（不安な気持ち）」「地域の高齢者は地域活動の開催を待っている」等、地域住民には様々な気持ちがあることが分かった。

以上の事務局からの提案を基に、委員の皆さまと意見交換を行いました。

* 担い手不足 *

「区の役員や地域活動の担い手が高齢化し、次の担い手がない」

* 地域活動が続ける上での悩み *

「長期的に地域で援助することの難しさを感じている」

* 現在の地域活動 *

「高齢者のちょっとした困りごとを、地域で募集したサポーターが援助している」

「コロナ禍で、地域での活動が制限されているが、外での活動を企画する等、工夫しながら継続している」

「住民主体のB型のデイサービスをささえ愛サポーターの皆さんが主体で行っている」

* 地域活動の必要性 *

「なんとか仲間を集めて、地域活動を続けていきたい」

「定年などで、社会参加の機会のない人にとって、地域活動に参加して楽しむことは良いことなので、なくしたくない」

「定期的に行っている地域の集まりの場を、高齢者は楽しみにしているが、コロナ禍で行えていない」

* 地域の担い手（活動）のアイデア *

「（施設等の）専門職の仕事を切り分け、元気な高齢者等に担ってもらえる仕事を考える視点が必要」

「地域の方の声かけや見守りで、高齢者への対応に工夫できることはたくさんあると思う」

「専門職からの情報発信を工夫して行うことで、地域の担い手として役割を果たせるのではないかな」

「コロナ禍で出歩けなければ、デジタルツールの活用も検討してはどうか」

「『元気高齢者』という名称を、当事者はぴんとこないのではないかな。何か別の名称を考えたらどうか」

「地域に人材はいると思う。その掘り起こし方を考える必要がある」

次回は、今回の意見を基に、更にテーマを深めていきたいと思います。

【編集後記】

今年度、2回目の地域ケア推進会議を無事、開催することができ、ほっとすると同時に、いただいた意見をどのようにまとめていこうかと、頭を悩ませております。今回の会議で、委員の皆さまから様々な意見を伺い、小諸市の地域の状況をたくさん学ばせていただき、とても勉強になりました。

次回会議でも、たくさんご意見をいただけるように、準備していきますので、委員の皆さま、今後ともよろしくお願ひします。

